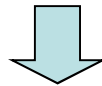


電照6～9月出し栽培に適する夏秋スプレーギク「サザンチェルシーイエロー」

背景

スプレーギクは白・黄・桃系3色の切り花が求められるため、同一ほ場で複数の品種を栽培する必要があり、栽培管理が極めて煩雑である。

目的



商品性や生産性が高い県育成品種について、突然変異誘発によって、花色のみが異なり、栽培特性が同じである花色ファミリー品種を育成する。

研究方法

- 平成23年に県育成品種「サザンチェルシー」を親に突然変異誘発を実施。
- 平成27年に花き部、フラワーセンター、現地(曾於, 大隅, 始良, 沖永良部)で評価試験を実施, 品種候補として選定。
- 平成27年度に品種登録出願予定。

成果の内容・特徴

- ①突然変異により得られた鹿児島県初のスプレーギク花色ファミリー品種。
- ②桃系「サザンチェルシー」の花色ファミリー品種で、花は明るい黄色で緑心。
- ③葉色が濃く、コンパクトであり、草姿が良い。
- ④県内全域で栽培しやすく、切り花の生産性が高い。
- ⑤「サザンチェルシー」と同じ栽培管理ができる。



「サザンチェルシーイエロー」 「サザンチェルシー」

花き部

今後の展開

種苗はフラワーセンターから県内生産者に供給される。普及は30戸程度を見込んでいる。